

地域と教育

第17号

—新潟県岩船郡粟島—

2018年8月

筑波大学博士課程人間総合科学研究科教育学専攻

「社会科教育学特講」調査報告

はじめに

第17回となる「地域と教育」の調査地は、第16回の2016年に引き続き新潟県粟島であった。粟島の行政区は、岩船郡粟島浦村で、2015年の国勢調査で人口370、高齢化の進んだ村である。島の面積は、10km²に満たない小さな島であるが、島の周囲を巡る周回道路は、アップダウンの激しい道で、過酷なサイクリングコースとしても知られている。粟島は、村上市の岩船港から35km、高速船で55分、フェリーで1時間30分の距離にある、日本海の島である。集落は、本土に面した東の内浦と日本海を望む西の釜谷の2つである。過疎化の進む島ではあるが、人口減少を食い止める取り組みが積極的になされ、その様子は2016年1月にNHKのクローズアップ現代でも紹介された。

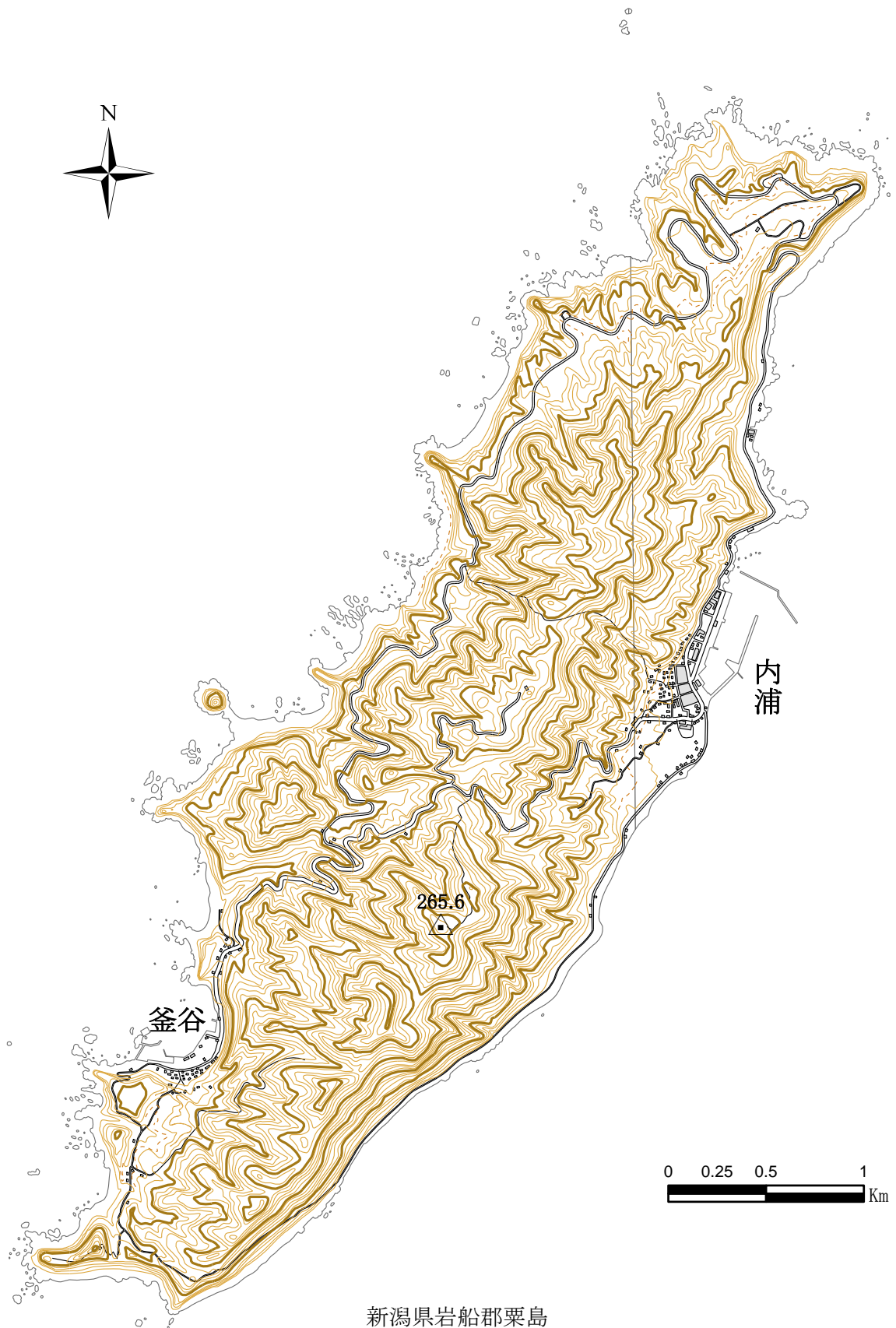
粟島には、粟島浦村立粟島浦小学校中学校がある。以前は、釜谷集落に分校があったが、すでに廃校となっている。今回も前回と同様に、粟島浦小学校中学校を核としながら、粟島の地域調査を実施した。調査は2017年9月3日から6日までの4日間で実施した。この調査では、関係者の方々からお話をうかがい、貴重な資料を収集させていただいた。粟島浦村教育委員会教育長の川村三千男氏、教育委員会の脇川秀幸氏、粟島浦村立粟島浦小学校中学校校長の星和富氏、同小学校教頭の平山裕也氏、同中学校教頭の佐藤光氏、粟島浦村立粟島浦村保育園の松浦由香里氏をはじめ、役場、学校関係者、民宿治郎作の方々といった住民の皆様には、大変お世話になった。このように多くの方々の協力のもとで調査を進めることができた。それにより、今回は5本の論稿を載せることができた。皆様には心より御礼申し上げます。今回の調査報告が、少しでも地域の教育、人々に還元できれば幸いです。

2018年8月

井田仁康

目 次

はじめに	井田 仁康・・・・・ i
目次	ii
図 「新潟県岩船郡粟島」	iii
複式学級社会科における指導計画に関する教師の認識 —粟島浦小学校での聞き取り調査を通して—	久保園 梓・・・・・ 1
離島の幼児教育における保小連携プログラムの実態 —新潟県粟島の保育園と小学校生活科が取り組む自然体験活動を事例に—	得居 千照・・・・・ 23
新潟県粟島における学習者のプライベートジオグラフィーと地域の関係 —「場所に対する地理的センス (sense of place)」概念を中心に—	Yang JaYeon・・・・・ 38
人口減少時代の離島地域におけるキャリア教育 —新潟県粟島の取り組みと小中学生の将来に対する意識に注目して—	大脇 和志・・・・・ 55
粟島における伝統・文化に対する子どもの「思い」の実態 —内浦神楽と釜谷獅子舞に関する質問紙調査を通して—	早瀬 博典・・・・・ 75
調査の概要	92



新潟県岩船郡粟島
(2万5000分の1地形図「粟島」, 2016年 (国土地理院)
<https://fgd.gsi.go.jp/download/mapGis.php?tab=dem>)

地域と教育 第 17 号 —新潟県岩船郡粟島—

筑波大学博士課程人間総合科学研究科教育学専攻
「社会科教育学特講」調査報告

発行日 2018 年 8 月 25 日

発行者 井田仁康（筑波大学人間系教授）
〒205-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1
Tel & Fax 029-853-6731

印刷 株式会社いなもと印刷
〒300-0007 茨城県土浦市板谷 6 丁目 28-8
Tel 029-826-1221 Fax 029-826-1080